

研 究 分 野	生態系	部名	調査普及部
研 究 課 題 名	外来魚被害対策事業		
予 算 区 分	県単		
試験研究実施年度・研究期間	H. 1 0～H. 1 9		
担 当	吉田 由孝		
協 力 ・ 分 担 関 係	東北町、小川原湖漁協、おいらせ町		

〈目的〉

内水面の有用魚種等に悪影響を与えるブラックバス等外来魚について、生態調査及び駆除指導等を実施し、漁業や在来生態系の被害軽減及び分布拡大防止を図る。

〈試験研究方法〉

外来魚被害対策事業で外来魚の駆除に取り組んでいる小川原湖漁協とおいらせ町に対し駆除指導を行うとともに、駆除したオオクチバス、ブルーギルの魚体測定（全長、体重、生殖腺重量、胃内容物等）を行い、時期別魚体組成や成熟状況、食性等を把握した。

また、十和田市一本木沢溜池と七戸町和田ダムにおいて、外来魚の生息状況調査に協力した。

〈結果の概要・要約〉

1. 小川原湖

小川原湖及び周辺水域において、定置網、刺網、釣りによりオオクチバスが 459 尾捕獲され、魚体測定結果を表 1 に示した。これまで同様、湖南部の七戸川河口と砂土路川河口周辺で多かったが、今年度は特に内沼で多かった。魚体組成から当歳魚を含む複数年級群が捕獲され、生殖腺指数の高い個体も確認された。湖内での再生産が推測されるものの、ふ化後間もない仔稚魚や成熟親魚が今年度も確認されず、産卵場所を把握することはできなかった。

捕獲されたオオクチバスの胃内容物は、魚類が全体の 28%と多く、今後のオオクチバスの影響の参考とするため、生息魚類調査を 6 月と 10 月に湖南部の定置網で行った結果、20 種類の在来魚が確認された。小川原湖ではオオクチバスの増加傾向は見られておらず、定置網等による駆除の他、小川原湖の豊富な在来種によりオオクチバスの繁殖が抑制されていることが考えられる。

2. おいらせ町根岸堤

5 月 29 日から 9 月 13 日までに、延縄、釣り、刺網、持網等により、ブルーギル 25,968 尾、オオクチバス 6,578 尾が捕獲され、ほとんどが当歳魚であり、1 歳魚以上の個体は激減し、昨年度までの駆除の成果が顕著に現れた。魚体測定結果（表 2,3）より、持網で小型魚、延縄・釣りで中型魚、刺網で大型魚が主に捕獲され（図 1）、時期別捕獲状況、時期別全長組成、生殖腺の発達状況、食性等を把握することができた。これらの結果から、産卵時期である春から夏に親魚、夏に仔稚魚を駆除することが効率的・効果的と考えられる。

3. その他

○十和田市一本木沢溜池において、4 月 22 日に一本木沢ビオトープ協議会、十和田市役所他関係者とオオクチバス生息調査（水抜き）を行った結果、オオクチバス 10 尾（全長 14～46cm）を捕獲し駆除した。また、ゲンゴロウブナやハゼ類等在来種が多数確認された。

○和田ダムにおいて、9 月 30 日に七戸川内水面漁協他関係者と地曳網、刺網を用い、オオクチバス生息調査を行った結果、ヤマメ、イワナ、ウグイが採捕された。

〈主要成果の具体的なデータ〉

表1 オオクチバス魚体測定結果(小川原湖)

捕獲月日 2006年4月3日～12月25日					
場所	湖内	姉沼	内沼	八甲温泉	計
漁具	定置	定置	定置・刺網	釣り	
捕獲尾数(尾)	241	78	131	9	459
全長 (cm)	測定尾数(尾)	238	78	94	419
	平均	14.5	15.2	26.3	17.4
	標準偏差	6.1	5.3	3.6	7.3
	最大	34.0	30.7	30.8	34.0
体重 (g)	測定尾数(尾)	238	78	94	419
	平均	77.5	80.4	341.4	138.7
	標準偏差	104.0	104.0	106.0	151.2
	最大	692.0	489.5	612.0	692.0
肥満度	測定尾数(尾)	238	78	94	419
	平均	14.7	14.9	17.7	15.4
	標準偏差	1.9	1.8	2.0	2.3
	最大	22.1	19.7	21.6	22.1
性別	測定尾数(尾)	230	78	92	409
	♀	91	37	46	179
	♂	139	41	46	230
	♀/♂	0.7	0.9	1.0	0.8

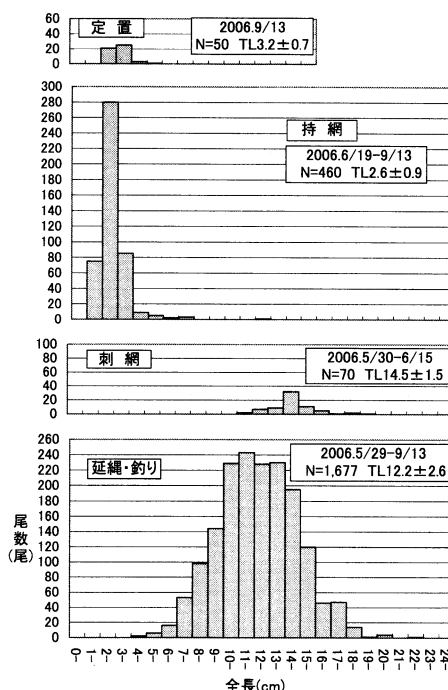


図1 根岸堤ブルーギル漁法別全長組成

表2 ブルーギル魚体測定結果(根岸堤)

捕獲月日 2006年5月29日～9月13日				
漁法	延縄・釣り	刺網	持網・定置	計
捕獲尾数(尾)	1,736	75	24,157	25,968
全長 (cm)	測定尾数(尾)	1,677	70	510
	平均	12.2	14.5	2.6
	標準偏差	2.6	1.5	0.9
	最大	22.8	19.1	12.9
体重 (g)	測定尾数(尾)	1,677	70	120
	平均(g)	48.9	76.2	1.2
	標準偏差	34.5	27.8	5.0
	最大	323.4	180.0	53.6
肥満度	測定尾数(尾)	1,677	70	120
	平均	22.6	23.9	13.8
	標準偏差	2.8	2.1	2.6
	最大	33.6	28.0	25.0
性別	測定尾数(尾)	1,671	70	—
	♀	951	32	—
	♂	716	38	—
	不明	4	0	—
	♀/♂	1.3	0.8	—

表3 オオクチバス魚体測定結果(根岸堤)

捕獲月日 2006年5月29日～9月13日				
漁法	延縄・釣り	刺網	持網	計
捕獲尾数(尾)	370	18	6,190	6,578
全長 (cm)	測定尾数(尾)	367	18	142
	平均	14.0	5.3	2.7
	標準偏差	5.0	34.0	0.9
	最大	38.1	12.1	10.0
体重 (g)	測定尾数(尾)	367	18	31
	平均	55.4	187.8	0.7
	標準偏差	87.1	148.9	2.3
	最大	1,108.0	558.6	13.5
肥満度	測定尾数(尾)	367	18	31
	平均	13.7	14.0	13.9
	標準偏差	1.1	0.9	1.6
	最大	20.0	15.9	17.6
性別	測定尾数(尾)	348	18	—
	♀	177	13	—
	♂	160	5	—
	不明	11	—	—
	♀/♂	1.1	2.6	—

〈今後の問題点〉

- 小川原湖：親魚・仔稚魚生息場所の把握による繁殖抑制対策、外来魚の影響把握
- おいらせ町根岸堤：外来魚の生態を考慮した効率的な駆除、駆除効果の把握

〈次年度の具体的な計画〉

- 小川原湖：親魚・仔稚魚分布把握、生息魚類モニタリング
- おいらせ町根岸堤：持網や延縄等各漁法を組み合わせた駆除、生息魚類モニタリング

〈結果の発表・活用状況等〉

- 外来魚駆除対策会議（東北町、おいらせ町）において関係者に調査結果報告書の配布及び説明。